

第 125 回触媒討論会特別シンポジウム

触媒学会では、第 115 回触媒討論会より毎年継続して参りました特別シンポジウムを、第 125 回触媒討論会にて開催します。注目度の高いテーマや他分野と境界領域のテーマを選定し、この分野でご活躍されている産学官の第一人者の方々にご講演をお願いしています。今回は「機能性材料開発を支える触媒技術」および「光・電気・電場などが係わる革新的反応」の二つのテーマについて特別シンポジウムを開催します。

本企画が、各界の研究者の交流を一層促進し革新的な成果を生み出す"触媒"となるよう、積極的なご参加をお願いします。

主催：触媒学会

協賛（予定）：エネルギー・資源学会、応用物理学会、化学工学会、高分子学会、自動車技術会、触媒工業協会、水素エネルギー協会、静電気学会、石油学会、電気化学会、日本エネルギー学会、日本化学会、日本ゴム協会、日本接着学会、日本セラミックス協会、日本太陽エネルギー学会、日本電磁波エネルギー応用学会、日本光学会、日本プロセス化学会、日本薬学会、有機合成化学協会

日時：2020年3月27日（木）14:30-17:30

会場：工学院大学 新宿キャンパス 触媒討論会会場にて
(東京都新宿区西新宿 1-24-2)

テーマ1：「機能性材料開発を支える触媒技術」 14:30-17:30

- ・精密な反応機構解析に基づく新規錯体触媒反応の開拓 真島和志（大阪大）
- ・可視光フォトレドックス触媒作用を基盤としたラジカル的官能基化法の開発 小池隆司（東京工業大）
- ・クロスカップリング反応のフロンティアを切り拓く 三浦雅博（大阪大）
- ・High Strength Rubber (HSR) 技術：新開発 Gd 触媒による共役ジエンとオレフィンの共重合 会田 昭二郎（ブリジストン）
- ・パネルディスカッション「機能性材料開発を支える触媒技術の今後の方向性」 上記 4 氏

テーマ2：「光・電気・電場などが係わる革新的反応」 14:30-17:30

- ・シンポジウム趣旨説明および電場反応 関根 泰（早稲田大）
- ・可視光と水で CO₂ を有機物に変換する反応系の開発 森川健志（豊田中央研究所）
- ・水と電気をを用いた化学品合成 山中一郎（東京工業大）
- ・CO₂ の中低温での電気化学的活性化 石原達巳（九州大）
- ・マイクロ波特殊過熱による反応促進 和田雄二（東京工業大）
- ・総括 関根 泰（早稲田大）

参加費：

- 1) 第 125 回触媒討論会参加登録費に含まれます。
- 2) 特別シンポジウムのみ参加の場合（予定（税込））
 - ・触媒学会個人会員：一般 4,300 円、学生 2,200 円、シニア会員 2,200 円
 - ・触媒学会団体会員：5,300 円
 - ・協賛学協会個人会員（受け付けで会員証をご提示ください）：一般 4,300 円；学生、2,200 円
協賛学協団体会員：5,300 円
 - ・協賛学協会以外：一般 15,800 円、学生：8,600 円

参加申込方法：事前申込の必要はありません。特別シンポジウムのみ参加の場合、当日 13 時 30 分より総合受付にて受付を開始します。

問合先：触媒学会 事務局

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 3 階

電話：03-3291-8224

E-Mail：catsj (@) pb3.so-net.ne.jp（カッコを外してください）